



学びの虹

新春特別版

東京都立鹿本学園 校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

明けましておめでとうございます。

平成30年の幕開けです。天皇陛下の御退位、東京2020東京オリンピック・パラリンピック開催など、象徴的な時代の転換点に差し掛かっています。新しい時代がそこまでやってきています。

教育の世界でも新時代に向け、学習指導要領が改訂され新しい取り組みが進められています。

今後AI（人工知能）やロボット技術の進歩、情報化やグローバル化によって、社会は急激な変化が予測されます。未来を創造する人となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育を実現するため、学習指導要領の改訂が行われているのです。

また、この改訂ではよりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を、学校と社会が共有することを目指しています。

社会に関かれた教育課程

新学習指導要領の重要な理念の一つが、「社会に関かれた教育課程」です。学校教育は学習指導要領に示された教科の内容を習得することと捉えられがちですが、これからは、教員一人一人が社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、教育課程を介してこの目標を社会と共有していくことが進められていくこととなります。

未来の社会を創り出していく子供たちには社会や世界に向き合い、関わり合って、自分の人生を切り拓いていくことが求められており、そのためにどのような資質や能力を高めていくのか、また、資質・能力を高めるためには、どのような学び方をするのかについても新学習指導要領に示されています。

持続可能な社会づくりに向けた教育

さて、本校は平成29、30年度の2年間、東京都教育委員会から「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」の指定を受けております。全都の公立小・中・高・特別支援学校30校中、特別支援学校としてただ1校指定されました。

持続可能な社会とは、「将来世代のニーズを満たしつ

つ、現在の世代のニーズも満たすような社会」のことで、具体的には「世代間の公平や、地域間の公平、男女間の平等、社会的寛容、貧困削減、環境の保全と回復、天然資源の保全、公正で平和な社会など」が実現する社会のことを指しています。社会に関かれた教育を実現するうえで、私たちの視点は今生活している日本、東京の江戸川区または葛飾区となるのが自然なことですが、もっとグローバルな視点からこの社会を捉えることが大切になります。例えば、食の問題ならば、世界の人口増加と食糧生産。日本の食料自給率の低下や食品ロス。地球温暖化や砂漠化の進行など一国では対処できない問題があり、持続的発展の脅威となっています。

将来の社会を創造していく子供たちにはこれらの課題について、一人一人が自らの課題として考え、持続可能な社会づくりを実現していく力を育むことが求められます。推進校である本校には、将来の社会の創成者として子供の育成を図っていくことが期待されているのです。

一層の教育向上に向けて！公開研究会開催

2月9日（金）には、開校以来の伝統となっている全国公開研究会を実施します。毎年、北海道から沖縄まで全国各地から、また都内の先生方や葛飾区・江戸川区の幼・小・中の先生方等、鹿本学園のチャレンジに関心を寄せてくださる方がたくさん来校されます。研究会では、接続可能な社会づくりに向けた教育推進校として、「自分から動く授業・将来につなげる授業 ～アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善～」をテーマに、全体会、4つのセミナーと分科会、校舎見学ツアー等を通じ本校の授業改善に関する研究報告をいたします。

◆4セミナーA～Dのテーマは以下の通りです。

A：全校に読書を広げよう 年間貸出1万冊の秘密

⇒平成29年度読書活動優秀校文科大臣表彰実践報告

B：「虹の部屋」を活用した児童・生徒のモチベーションアップ

⇒トークンを活用した児童・生徒の自発的な行動の促進

C：ICT活用Ⅲ：機器の多様な活用で授業改善&モラルアップ

⇒タブレット端末65台のリアルタイム管理活用術

D：シンポジウム「発達障害教育の今とこれから」

⇒通級指導教室と通常の学級の連携を考える

◆校舎見学ツアーでは最新の教育環境を紹介します。

⇒併置の魅力コース、肢体施設重点コース、知的施設重点コース

◆研究会は以下の4分科会から選択して参加します。

I 文字や数の理解を通して考える力を育てる基礎学習

⇒1年間の個別学習での児童・生徒の変容から考えるアクティブ・ラーニング

助言者：宮城武久先生（つばき教育研究所 理事長）

II 地域で自立するための力を育むアクティブ・ラーニング

⇒小・中・高の指導の系統性を考える

助言者：東京都教育庁指導部指導企画課指導主事

III 児童が自ら考える・わかる・やり遂げる！授業

⇒自ら思考するアクティブ・ラーニング

助言者：齊藤宇開先生（株式会社たすく代表）

IV 生徒がわかる・動く・つながる！作業学習

⇒将来につなげるアクティブ・ラーニング

助言者：増子拓真先生（株式会社たすく 作業療法士）

◆全体会「特別支援学校における持続可能な社会づくりに向けた教育の実践」と題し、今年度から推進校として取り組んでいる持続可能な社会づくりに向けた教育の理念と本校の指導の視点について説明します。

< 御 協 力 の お 願 い >

鹿本学園の教育を一層充実させるために、この一日を全校研究に活用します。**2/9（金）は、S部門は11:30**

下校、N部門は11:35下校として研究会を開催します。

特段の御協力をお願いいたします。

鹿本学園校長 庄司伸哉

